



去年の12月、わたしが卵の中で眠っていると、村の教育委員会の人たちや、わたしたちをずっと前から守ってくれている尾形洋一さんという人がやってきました。

尾形さんたちは、なにやら卵の数を数えはじめ、その数をノートにメモしていました。尾形さんは「チョウセンアカシジミを守るには、とにかく、デフノトネリコを守る事が大切ですから」と教育委員会の人に話していました。そして尾形さんは、わたしのいるデフノトネリコの木に、赤いテープを巻き付けて、番号札を付けて行きました。わたしたちを知らない人に、木を切られないようにと村内を回って目印を付けていると言っていました。そんな、わたしたちを守ってくださる尾形さんや村教育委員会の人たちにとっても感謝しています。

言い忘れましたが、わたしたちはデフノトネリコという木にししか卵を産めません。だから、わたしたちが生きていくには、この木は絶対に必要なのです。この木がなければ、わたしたちはここからいなくなってしまうんです。

でも、わたしたちのことやデフノトネリコの木のことを知らない人は、卵が付いているのに、知らないで切ってしまうんです。それが原因で今までたくさん仲間が卵

から出た後、葉っぱにたどり着けず亡くなりました。

わたしはここ普代が、とっても大好きです。きれいな川が近くにあります、日当たりもよく、きれいな自然が残っているからです。

皆さんにお願いがあります。それは、わたしたちがここで暮らしていることを知っていただき、わたしたちの子どもたちが安心して暮らせるよう見守って欲しいのです。そして、わたしたちが生きていくために大切なデフノトネリコの木を増やして欲しいのです。

わたしもあと数日で、母のもとへいきます。まだ見ぬ子どもたちが、この場所で、わたしがシジ男さんと出会ったように、幸せな一生を送り、そして、わたしたちチョウセンアカシジミがずっとここ普代で暮らせるように、皆さんに見守っていてほしいのです。

皆さん、どうか、わたしのこの願いをかなえてください。お願いいたします。

アカ子



チョウセンアカシジミの成虫観察会

村教育委員会では、村指定文化財（天然記念物）「チョウ センアカシジミ」の観察会を次のとおり行います。オレンジ色のかわいいチョウを見てくださいか？この機会に、ぜひご参加ください。

- とき…7月17日(日) 11:00~14:00
- 観察場所…上区(普代川沿い)
- 集合場所…三鉄普代駅前(受け付けは10:30からです)
- 参加対象…村民、チョウセンアカシジミに興味のある方
- 指導者…尾形洋一さん(チョウセンアカシジミの会代表・宮古市在住)
- 申し込み…7月13日(水)までに、村教育委員会社会教育係(☎0194-35-2711内線176)にお申し込みください。

取材を終えて

道路や河川などが整備され、わたしたちの生活は便利になりました。その反面、失った自然環境もあつたように思います。昔から住んでいた生き物が、そこからいなくなるということは、間違いなく自然環境が変わっているということです。デフノトネリコが少なくなり、チョウがいなくなったのも同じことです。

子どもたちはデフノトネリコの木を植えたり、幼虫やさなぎ、成虫の観察などの保護活動を通して、大切なことを学んだと思います。それは、ほんの小さな環境の変化が貴重なチョウを減らし、その一方、チョウや自然を理解する

ことで、それを増やすことができるといふことです。

チョウセンアカシジミは開けた河川や人家の周辺などを好みます。人の指先にも止まる人なつっこいチョウです。チョウを保護するには、デフノトネリコの伐採を防ぎ、家の周りに木を植えるなど、皆さんの協力が必要です。

これからは子どもたちと一緒にわたしたちもチョウを守る活動を続け、自然豊かな環境を保護し、チョウが飛び交う美しいふるさと・普代を、子どもたちにもいつまでも伝えていきたいものです。

チョウを守ることに。それは、ふるさとをこの小さな生命が、わたしたちに教えてくれているような気がします。